

岐阜県家庭教育学級実践事例

学校行事参加型+講演会型+在宅取組型(中学校)

学校名等	関ヶ原町立関ヶ原中学校
実施日時	令和7年7月11日(金)、夏休み
会場	関ヶ原中学校 会議室、各教室
参加人数	12名
学習課題(分野)	情報モラル教育(社会のルール)
運営者の願い	親子で、情報モラルについて学んでいただき、家庭でも SNS との上手な付き合い方などを考えるよい機会にさせていただきたいと考えた。情報モラル教育の授業を夏休み前に行うことで、家庭生活が中心となる夏休みに、トラブルに合わないようにする。具体的には、「わが家の約束宣言」を行い、取り組んでもらい意識を高めたい。

学習の内容

<取組方法>

- ・ 学校の情報主任が中心となって、オンラインで、情報モラルについての研修を行う。
- ・ 研修会を授業参観という形で、保護者と生徒が同時に情報モラルについて学ぶ。
- ・ 情報モラル研修で学んだことをもとに、「わが家の約束宣言」を決定する。
- ・ 夏休みに、「わが家の約束宣言」に取り組む。
- ・ 家族で、メッセージの交換を行う。

<情報モラル研修>

- ・ 情報モラル研修では、動画を見ながら、現実起こりうる事案について学んだ。
- ・ 生徒たちは、自分の立場に置き換えて、トラブルについて考えることができた。
- ・ 保護者は、保護者として気を付けなければならないことを研修から学ぶことができた。
- ・ (動画から学ぶトラブル例)
- ・ SNS に関わるやりとりの勘違い
- ・ 見ず知らずの人とのつながりからのトラブル
- ・ スマホ・ゲーム依存について
- ・ インターネットショッピングの危険性・詐欺事案など



<わが家の約束宣言>

- ・ 家庭で話し合い、ネットの安全・安心利用のために何を約束するかを決定する。
- ・ (約束の例)
- ・ インターネットを利用する時間や場所を決める。
- ・ SNS に悪口と誤解されるような書き込みはしない。
- ・ 食事中は使用しないなど

<アンケートより>

- ・ 子どもとスマホの使い方を話し合うよい機会となった。
- ・ SNS のトラブル例を知ったので、いつも話題にして、使い方について確認していきたい。



親子で参加

親子で研修に参加することで、SNSに関するトラブル例を共有することができ、話し合うきっかけになった。



実践につなげる

「わが家の約束」に取り組むことで、SNS の安全、安心利用に対する意識を高めることができた。

